

町長 × 富士川中学校 × 保護者

富士川中学校新校舎に使用する町産木材の

伐採・伐倒体験



富士川中学校では、6月21日(土)、生徒と保護者が「親子まなびDay」として、新校舎に使用する町産木材の伐採・伐倒を体験しました。

伐採場所は、平林窪平地内にある町有林エリアで、町長をはじめ、富士川中学校の1年生75名とその保護者29名が参加しました。

まず、町長が木に仕込んだくさびを目掛けて、斧を振り下ろすと、静かな山の中で「カーン」という音が響き渡りました。

思いっきり斧を振る
望月町長



れました。その瞬間、その場にいた全員が、「おお」と声をあげ、感動に包まれました。今回伐採した木は、樹齢約60年のヒノキで、切り口からはヒノキのいい香りがしました。

参加した水口廉生(れんせい)さんは、「60年かけて育った木を、僕たちの学校の校舎で使わせてもらえるのは、とてもありがたいことだと思う。校舎も大切に使用していきたい。」と話していました。

また、今回、増穂中学校の生徒や保護者が、長い年月をかけ大切に育ててきた学校林も、新校舎で使用することとなり、事前に切り出された木材が、生徒とPTAの代表から町長に贈られました。



町産木材は新校舎のどこに使われるの？

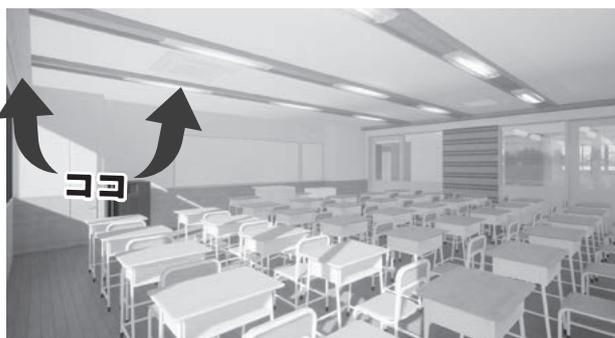
町産木材の活用は、富士川町らしさや環境教育への足掛かりとなり、富士川町の豊かな自然を、未来へつなげていくことになると考えています。

新校舎において町産木材を使用する箇所←

- ◆普通教室や一部の特別教室の照明ボックス、カーテンボックス
- ◆教室内や廊下に設置する、掲示壁
- ◆室名札
- ◆廊下各所に設置するベンチ
- ◆吹き抜け空間の落下防止柵

など

新校舎の建設工事は、今年の10月頃に着工し、完成は令和9年3月を予定しています。その年の4月に、今の1年生が3年生となり、夏休みを利用して引越しを行い、2学期から新校舎での学校生活が始まります。



▲照明ボックス(天井)とカーテンボックス(左上)



▲吹き抜け空間の落下防止柵

●お問い合わせ

教育総務課 学校施設担当
☎22-7200